

令和6年度 第2コース

静岡県主任介護支援専門員研修のしおり(C・Dコース)



「ちゃっぴー」©静岡県

目 次

1	受講に当たっての注意事項	・・・	2
2	概要	・・・	3
3	提出書類等一覧	・・・	5
4	受講時準備するもの	・・・	6
5	研修終了後のレポート等の提出について	・・・	6
6	修了評価について	・・・	7

【参考】主任介護支援専門員研修実施要綱

事務局 静岡県健康福祉部介護保険課

Email kaigohoken@pref.shizuoka.lg.jp

※研修に関するお問合せはメールでお願いいたします。

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

(TEL 054-221-2312)

1 受講に当たっての注意事項

- オンライン研修の受講に必要なパソコン、web用カメラ・マイク、インターネット等の環境を整えてください。通信環境の安定したパソコンから受講してください。
- 研修中は、研修に集中できる環境を整えてください。事業所等で受講する場合は、利用者等の個人情報映らない、聞こえないように配慮してください。
- 受講には、Zoomブレイクアウトルーム機能及び画面共有が使用できることを前提とします。研修開始までに体験を重ねてください。
- 毎回、研修開始**10分前までに入室**してください。
- 入室時の「名前」は、「受講番号(三桁)氏名(ふりがな)」(例:001 介護太郎(かいごたろう))に変更してください。4日目以降は「受講番号(三桁)(グループ名)氏名(ふりがな)」(例:001(1)介護太郎(かいごたろう))に変更してください。これにより受講確認を行います。受講確認ができない場合は、研修修了を認めませんので、御注意ください。
- 原則として、欠席、遅刻早退は認めません。通信障害による切断回数が多い場合及び30分以上の切断の場合は、欠席とみなします。
- 研修中の録画及び録音を禁止します。事務局において、通信障害等に備えて研修を録画しますが、使用目的及び視聴者を限定しますので、御了承願います。
- 演習を効果的、円滑に行うため、当該科目のテキストの確認、事前送付される資料の確認、自身の役割の確認、Zoomの画面共有方法の確認を行ってください。
- 事前課題がある科目もあります。内容等については、研修中にお知らせします。
- オンライン研修の手引き等は、静岡県介護保険課のホームページ「静岡県介護支援専門員法定研修のオンライン研修について」で確認してください。
- 研修中に使用した事例等の資料は、終了後、各自の責任において適切に処分してください。
- 研修の修了日は、修了評価を実施し、修了証明書を交付する日です。12日間の研修全ての課程を受講し、提出された研修記録シートや終了後のレポート等で評価し、研修において求められる知識、技術の修得状況が確認できた方に、修了証明書を交付します。
- 主任介護支援専門員研修は、介護支援専門員証の更新に必要な研修には該当しませんので御注意ください。

2 概要

(1) 目的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを实践できる主任介護支援専門員の養成を図る。

(2) 実施期間

令和6年11月5日（火）～令和7年2月20日（木）のうち、12日間

(3) 受講方法

Zoomによるオンライン

(4) 受講者数

各コース50人予定

(5) 日程

表1（P4）のとおり

表 1

区分	日時及び科目	
1 日目	令和 6 年 11 月 5 日 (火) 9:30~17:00 開会 オリエンテーション 講義 『主任介護支援専門員の役割と視点』 講師：東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授 高野 龍昭 氏 介護老人保健施設梅名の里 副施設長 柿島 里香 氏	
2 日目	令和 6 年 11 月 14 日 (木) 9:30~17:00 講義 『運営管理におけるリスクマネジメント』 講師：沖縄県介護支援専門員協会 会長 高良 清健 氏 講義 『ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援』 講師：国際医療福祉大学大学院 教授 石山 麗子 氏	
3 日目	令和 6 年 11 月 21 日 (木) 9:30~17:00 講義 『人材育成及び業務管理』 講師：服部メディカル研究所 代表取締役 服部 万里子 氏 講義 『終末期ケア (EOL (エンドオブライフ) ケア) を含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解』 講師：公益社団法人静岡県看護協会 常務理事 松井 順子 氏	
4 日目	Cコース	Dコース
	令和 6 年 11 月 28 日 (木) 9:30~17:00 講義及び演習 『地域援助技術 (コミュニティソーシャルワーク)』 演習指導者：社会福祉法人春風会あしたかホーム 施設長 深沢 康久 氏 他	令和 6 年 11 月 29 日 (金) 9:30~17:00
5 日目	令和 6 年 12 月 10 日 (火) 9:30~17:00 講義及び演習 『地域における生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実現』 演習指導者：きちっと居宅介護支援事業所 佐藤 文恵 氏 他	令和 6 年 12 月 9 日 (月) 9:30~17:00
	令和 6 年 12 月 19 日 (木) 9:30~17:00 講義及び演習 『対人援助者監督指導 (スーパービジョン)』 演習指導者：株式会社慈眼舎 澤本 友子 氏 他	令和 6 年 12 月 20 日 (金) 9:30~17:00
7 日目	令和 7 年 1 月 10 日 (金) 9:30~17:00 講義及び演習 『対人援助者監督指導 (スーパービジョン)』 演習指導者：株式会社慈眼舎 澤本 友子 氏 他	令和 7 年 1 月 8 日 (水) 9:30~17:00
	令和 7 年 1 月 16 日 (木) 9:30~17:00 講義及び演習 『対人援助者監督指導 (スーパービジョン)』 演習指導者：株式会社慈眼舎 澤本 友子 氏 他	令和 7 年 1 月 17 日 (金) 9:30~17:00
9 日目	令和 7 年 1 月 24 日 (金) 9:30~17:00 講義及び演習 『個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開』 演習指導者：静岡市葵区安西番町地域包括支援センター 高野 美紀子 氏 他	
	令和 7 年 1 月 30 日 (木) 9:30~17:00 講義及び演習 『個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開』 演習指導者：静岡市葵区安西番町地域包括支援センター 高野 美紀子 氏 他	
11 日目	令和 7 年 2 月 6 日 (木) 9:30~17:00 講義及び演習 『個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開』 演習指導者：静岡市葵区安西番町地域包括支援センター 高野 美紀子 氏 他	
	令和 7 年 2 月 20 日 (木) 9:30~17:00 講義及び演習 『個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開』 演習指導者：静岡市葵区安西番町地域包括支援センター 高野 美紀子 氏 他	
12 日目	令和 7 年 2 月 20 日 (木) 9:30~17:00 講義及び演習 『個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開』 演習指導者：静岡市葵区安西番町地域包括支援センター 高野 美紀子 氏 他	

3 提出書類等一覧

日程	持参・提出するもの
【1日目】11/5(火)	なし
【2日目】11/14(木)	なし
【3日目】11/21(木)	なし
【4日目】 Cコース 11/28(木) Dコース 11/29(金)	・『地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク)』事前学習課題(地域アセスメントシート、参考にした行政資料、基本情報・アセスメントシート、ジェノグラム・エコマップシート)
【5日目】 Cコース 12/10(火) Dコース 12/9(月)	なし ※当日までに共通事例(別途、メールにて送付)を読み込み、「医療介護の連携方法や課題」、「地域の医療介護等の資源や需給・予測」について考えておく
【6日目】 Cコース 12/19(木) Dコース 12/20(金)	なし
【7日目】 Cコース 1/10(金) Dコース 1/8(水)	事例提供者は、事例提供日の7日前までに以下をグループメンバー宛てにメールにて送信 ・事例概要、課題整理総括表
【8日目】 Cコース 1/16(木) Dコース 1/17(金)	事例提供者は、事例提供日の7日前までに以下をグループメンバー宛てにメールにて送信 ・事例概要、課題整理総括表
【9日目】1/24(金)	事例提供者は、事例提供日の7日前までに以下をグループメンバー宛てにメールにて送信 ・事例概要、課題整理総括表
【10日目】1/30(木)	事例提供者は、事例提供日の7日前までに以下をグループメンバー宛てにメールにて送信 ・事例概要、課題整理総括表
【11日目】2/6(木)	事例提供者は、事例提供日の7日前までに以下をグループメンバー宛てにメールにて送信 ・事例概要、課題整理総括表
【12日目】2/20(木)	事例提供者は、事例提供日の7日前までに以下をグループメンバー宛てにメールにて送信 ・事例概要、課題整理総括表
研修終了後	・修了レポート提出(次頁の期限までに提出) ・研修記録シート1、2提出(P7の期限までにメール送信提出)

4 受講時準備するもの

テキスト、研修資料（事前送付又はホームページに掲載された資料を各自で印刷）、「3 提出書類等一覧」に記載した書類、画面共有に必要な演習シートをパソコンのデスクトップ等に保存してください。

5 研修終了後のレポート等の提出について

(1) 修了レポートの提出

<作成方法>

以下の項目について、研修での学びや今後の実践について考えていることを記載してください。

1 本研修において学んだこと

(200字以上・300字以内、文章で記載) ※必須

2 私が考える主任介護支援専門員像

(具体的に、200字以上・300字以内、文章で記載) ※必須

3 主任介護支援専門員として、今後実践しようとする活動と役割

(1) 所属内において

(200字以上・300字以内、文章で記載) ※必須

(2) 地域において

(200字以上・300字以内、文章で記載) ※必須

(3) その他

<提出期限>

令和7年2月27日(木) 厳守

<提出方法>

- ・「ふじのくに電子申請サービス」により提出してください（研修中に案内します）。
- ・主任介護支援専門員として市町等と協力しながら各地域で活動していただくため、受講推薦者の市町介護保険担当課に修了レポートを提供しますので、御了承ください。

(2) 研修記録シートの提出

<作成方法>

受講前に入力した研修記録シート1（目標）及び研修記録シート2（評価）に、受講直後及び3か月後の状況を入力してください。

研修記録シート1（目標）については、管理者記入欄も入力の上、提出してください。

<提出期限>

令和7年5月27日（火）厳守

<提出方法>

「ふじのくに電子申請サービス」により提出してください（研修中に案内します）。

6 修了評価について

- 修了証の交付にあたって、県事務局・演習指導者が以下の項目を確認し、研修において求められる知識・技術の修得ができたと評価された方に修了証を交付します。
 - ・出席状況（全日程を受講）
 - ・受講態度
 - ・課題の提出
 - ・演習指導者による演習総合評価（科目の修得目標の達成状況を確認）
 - ・修了レポート（主任介護支援専門員に求められる役割について、適切に記載されているか確認）
- 修了評価の結果、研修において求められる知識・技術の修得が十分でないと評価された方については修了を保留し、追加レポートによる再評価または修了不可の判断をします。再評価の結果研修において求められる知識・技術の修得状況が確認できない場合、又は受講態度が悪い場合は、修了不可とし修了証明書を交付しません。

【参考】

主任介護支援専門員研修実施要綱

1 目的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践できる主任介護支援専門員の養成を図ることを目的とする。

2 対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する介護支援専門員とする。

具体的には、主任介護支援専門員としての役割を果たすことができる者を養成する観点から、居宅サービス計画等を提出させることにより、研修実施機関において内容を確認し、利用者の自立支援に資するケアマネジメントが実践できていると認められる者のうち、以下の①から④のいずれかに該当し、かつ、(別添2)「介護支援専門員専門研修実施要綱」に基づく専門研修課程Ⅰ及び専門研修課程Ⅱ又は(別添4)「介護支援専門員更新研修実施要綱」の3の(3)に基づく実務経験者に対する介護支援専門員更新研修を修了した者とする。

① 専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して5年(60ヶ月)以上である者(ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。なお、専任の介護支援専門員として従事した期間については、居宅介護支援のほか、地域包括支援センター、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護又は介護保険施設において介護支援専門員として従事した期間を含むものとする。)

② 「ケアマネジメントリーダー活動等支援事業の実施及び推進について」(平成14年4月24日老発第0424003号厚生労働省老健局長通知)に基づくケアマネジメントリーダー養成研修を修了した者又は日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャーであって、専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して3年(36ヶ月)以上である者(ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。)

③ 施行規則第140条の66第1号イの(3)に規定する主任介護支援専門員に準ずる者として、現に地域包括支援センターに配置されている者

④ その他、介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する者であり、都道府県が適当と認める者

また、受講対象者の選定に当たっては、特に質の高い研修を実施する観点から、上記の要件以外に、都道府県において実情に応じた受講要件を設定することは差し支えないものとする。

3 実施方法等

(1) 実施に当たっての基本的な考え方

主任介護支援専門員研修は、他の介護支援専門員に適切な指導・助言、さらに事業所における人材育成及び業務管理を行うことができ、また、地域包括ケアシステムを

構築していくために必要な情報の収集・発信、事業所・職種間の調整を行うことにより地域課題を把握し、地域に必要な社会資源の開発やネットワークの構築など、個別支援を通じた地域づくりを行うことができる者を養成するための研修であることから、適切なケアマネジメントを実践できていることを前提とし、介護支援専門員が実際に直面している問題や地域包括ケアシステムを構築していく上での課題を把握することにより、本研修の修了者が、主任介護支援専門員として役割を果たすことができるよう、効果的な研修内容とすること。

(2) 研修内容

主任介護支援専門員研修で行うべき科目については、「介護保険法施行令第37条の15第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準」（平成18年厚生労働省告示第265号）に規定されているところであるが、その科目、目的、内容及び時間数については以下のとおりであり、合計70時間以上とする。

科 目	目 的	内 容	時間数
○主任介護支援専門員の役割と視点	地域包括ケアシステムの構築や地域包括ケアを実現するケアマネジメントを展開するに当たり、主任介護支援専門員が果たすべき役割を認識するとともに、その役割を担う上で必要な視点、知識及び技術を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等における主任介護支援専門員の役割（地域や事業所の介護支援専門員に対する個別支援、地域や事業所における人材育成の実施、多職種等とのネットワークづくりや社会資源の開発などの地域づくり及びセルフケア・セルフマネジメントに関する地域住民の意識づくり）について講義を行う。 ・事業所におけるケアマネジメントと地域包括ケアシステムにおいて求められるケアマネジメントの違いに関する講義を行う。 ・介護支援専門員に対する指導・支援の視点及び地域包括ケアシステムの構築に当たっての地域づくりに関する講義を行う。 ・介護保険制度や利用者支援に係る周辺制度について、最新の制度改正等の動向に関する講義を行う。 ・質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供に向けた現状の取組及び課題についての講義を行う。 	講義5時間
○ケアマネジメント（居宅介護支援、施設における施設サービス計画の作成、サービスの利用援助及び施設サービ	介護支援専門員が直面しやすい倫理的課題に対し、どのような姿勢で対応すべきかについて指導・支援する技術を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員倫理綱領の意義・内容を再確認し、介護支援専門員が備えるべき倫理を実践例を交えて講義を行う。 ・ケアマネジメントを行う際に直面する倫理的課題と対応方法について講義を行う。 	講義2時間

<p>ス計画の実施状況の把握並びに介護予防支援をいう。以下同じ。)の実践における倫理的な課題に対する支援</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援において生じた倫理面の課題に対する指導・支援方法について講義を行う。 	
<p>○終末期ケア (EOL (エンドオブライフ) ケア) を含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解</p>	<p>高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解や疾患別のケアの留意点、終末期ケアの基本等を踏まえた介護支援専門員への指導・支援や地域づくり等を行うために必要な知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「適切なケアマネジメント手法」の意義、基本的な考え方を踏まえた、介護支援専門員への指導・支援の方法や留意点に関する講義を行う。 ・終末期ケアの基本を理解し、居宅及び施設における終末期ケアの課題や必要な視点について講義を行う。 ・終末期ケアで必要な看護サービス等を活用する際の視点や医療職をはじめとする多職種との連携方法・協働のポイントについて講義を行う。 	<p>講義 3 時間</p>
<p>○人材育成及び業務管理</p>	<p>質の高いマネジメントを提供し、事業所の適正な運営等を図るための「人事管理」「経営管理」に関する知識の修得及び「人材育成」「業務管理」の手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や事業所内における介護支援専門員の人材育成に関する留意事項、効果的な取組及び方法（研修計画の作成、OJT と Off-JT、事例検討会等）について講義を行う。 ・地域において人材育成を行うに当たって必要なネットワークの構築方法に関する講義を行う。 ・事業所内における介護支援専門員に対する業務管理の意義・方法及び課題と対応策について講義を行う。 	<p>講義 3 時間</p>
<p>○運営管理におけるリスクマネジメント</p>	<p>ケアマネジメントを実践する上で発生するリスクに対して、組織や地域として対応する仕組みの構築に必要な知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例に基づき、ケアマネジメントを行う上で発生しうるリスクの予測とその評価の手法について講義を行う。 ・地域や事業所におけるリスク軽減に向けた仕組みや体制の構築の手法について講義を行う。 ・介護支援専門員に課せられている秘密保持義務の規定を再確認し、個人情報の取扱に係るリスクと関連制度について講義を行う。 ・自然災害や感染症が発生した場合の対応に関する基本的な考え方や方法、対応体制の構築に向けて必要な知識や方法について講義を行う。 	<p>講義 3 時間</p>

<p>○地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）</p>	<p>地域において、地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の実践が進むよう地域づくりの重要性と主任介護支援専門員の役割を理解するとともに、地域課題の把握方法、地域づくりに向けた具体的な取組内容等に係る必要な知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの意義と手法及び地域課題を把握するための情報の入手・活用する方法について講義を行う。 ・地域課題の解決に向けた関係者によるネットワークの機能や構築方法について講義を行う。 ・地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）に関する介護支援専門員に対する指導・支援方法を修得する。 ・地域ケア会議等を通じて把握した地域課題を解決するための地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の展開について、基本的な考え方や方法を修得する。 	<p>講義及び演習 6 時間</p>
<p>○地域における生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実現</p>	<p>地域において、医療との連携や多職種協働が進むよう、他の介護支援専門員や多職種に対する働きかけ、連携・協働の仕組みづくりに必要な知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療職をはじめとした多職種との協働における工夫と留意点など成功例と失敗例を参考にして連携・協働の仕組みづくりの重要性を理解する。 ・地域ケア会議が有している機能と、当該会議を効果的に開催するための運営方法に関する講義を行う。 ・行政との連携・協働に当たっての留意点に関する講義を行う。 ・多職種協働において関係する他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の概要と他法他制度を活用する際の関係機関等との連携・協働に当たっての留意点に関する講義を行う。 ・日常的な実践における医療職をはじめとした多職種協働に関する介護支援専門員への指導・支援方法を修得する。 	<p>講義及び演習 6 時間</p>
<p>○対人援助者監督指導（スーパービジョン）</p>	<p>対人援助者監督指導（スーパービジョン）の機能（管理や教育、支援）を理解し、実践できる知識・技術を修得するとともに、スーパーバイザーとして主任介護支援専門員に求められる姿勢を理解す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対人援助者監督指導（スーパービジョン）の内容と方法に関する講義を行う。 ・対人援助者監督指導（スーパービジョン）の効果、介護支援専門員に対して対人援助者監督指導（スーパービジョン）を行う際の留意点及びスーパーバイザーとしての主任介護支援専門員の心構えと視点を理解する。 ・個人対人援助者監督指導（個人スーパー 	<p>講義及び演習 1 8 時間</p>

	る。	ビジョン)と集団対人援助者監督指導(グループスーパービジョン)の方法等を修得する。	
○個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	介護支援専門員に対する指導・支援における様々な方法と関わり方について、その具体的方法や留意点を理解するとともに、事例研究の実践的な展開方法を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事例に対する介護支援専門員のケアマネジメントについて、主任介護支援専門員として指導・支援を行う際の様々な方法(コーチング、ティーチング等)を修得するとともに、指導・支援を行う際の様々な場面における関わり方を理解する。 ・指導・支援に当たっての留意点を踏まえつつ、事例検討・事例研究における指導・支援の実践的な展開方法(会議の設定と準備、介護支援専門員との関係構築、傾聴、承認、指導・支援の具体的な展開及びまとめと振り返り)を修得する。 	講義及び演習 2 4 時間

4 実施上の留意点

(1) 「適切なケアマネジメント手法」に関する科目について

「適切なケアマネジメント手法」とは、ニッポン一億総活躍プラン(平成 28 年 6 月 2 日閣議決定)を踏まえ厚生労働省の調査研究事業において、要介護高齢者本人と家族の生活の継続を支えるために、各職域で培われた知見に基づいて想定される支援を体系化し、その必要性や具体化を検討するためのアセスメント・モニタリングの項目を整理したものである。本人が有する疾患に関係なく高齢者の機能と生理を踏まえた想定される支援内容を整理した「基本ケア」及び疾患に特有な検討の視点又は可能性が想定される支援内容を整理した「疾患別ケア」により構成される。

内容欄に「適切なケアマネジメント手法」の記載のある科目については、当該調査研究事業の成果物等を活用すること。

(2) 講師

講師については、原則アからエまでのとおりとする。

ア 「主任介護支援専門員の役割と視点」、「人材育成及び業務管理」、「運営管理におけるリスクマネジメント」、「地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク)」、「対人援助者監督指導(スーパービジョン)」及び「個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開」の講師については、相当の実務経験のある主任介護支援専門員、大学教員又は法人内における研修の責任者として指導に従事している者を充てること。

イ 「ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援」の講師については、相当の実務経験のある現任の主任介護支援専門員を充てること。

ウ 「終末期ケア(EOL(エンドオブライフ)ケア)を含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解」の講師については、適切なケアマネジメント手法について相当の知見を有する者、終末期ケアに関し知見のある医療関係者又は病院等において医療連携業務に従事している者を充てること。

エ 「地域における生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実現」

の講師については、在宅介護に知見のある医療関係者又は病院等において医療連携業務に従事している者を充てること。

(3) 修了評価

研修の実施に当たっては、各科目における到達目標を達成しているかについて修了評価を実施すること。

(4) その他留意点

当該研修の研修受講地については、原則として介護支援専門員としての登録を行っている都道府県とする。なお、受講者がやむを得ない事情により、主任介護支援専門員研修の一部又は全部を受講できなかった場合には、別途実施する主任介護支援専門員研修の際に当該未受講の科目を受講することとして差し支えない。この場合、当該受講者から登録地の都道府県に申し出ることにより、他の都道府県で受講することを認めるなど、都道府県間で連携の上、受講者の便宜を図るものとする。